

生徒ホール・旧図書館棟が 新しくなりました

教頭 井澤 治



昭和四十年、一階に生徒ホール、二階に図書館、三階に多目的な空間が配置された中央校舎が完成しました。生徒ホールはソファールなどがある「生徒の憩いの空間」として、また、当時の学校図書館としては画期的な閲覧スペースと蔵書数であったということ、九里茂三先生が「他校にない斬新な施設」として大変気に入られていたそうです。その校舎も現在の耐震基準に満たないということで今回全面改築となりました。新中央校舎は、一階に引き続き生徒ホール、二階に中央職員室と面談室、そして三階には主体的で対話的に学ぶ授業が出来る「アクティブラーニング室」を二教室配置しました。平成二十九年三月に完成しましたので、近くにお立ち寄りの際はぜひ新中央校舎をご覧ください。

私の高校時代

最高の自分になる

若林あい子 さん (旧姓 松本 H12年卒)



左が若林さん

「九里学園、最高ですか!?」「最高ですーす!!」卒業式の最後に、卒業生全員で叫んだ言葉だ。三年間お世話になった先生方、十八年間育て支えてくれた家族、そして九里学園で出逢った大切な仲間達に向けて、ありったけのありがとうの気持ちを込めて卒業証書を天に上げた。

あの日から約十七年。本当に色々な事があった。何かに躓いたり、悩んだりすると、あの頃描いていた自分の将来像に私は近付けているのだろうか?と、いつも考える。そして、なりたいた自分を想像し、そこに辿り着くために何をすべきなのか、自分自身や周りの人ととことん向き合う。これは、部活や生徒会活動等に毎日忙しく走り回っていた三年間の中で、たくさんの先生や仲間と出逢い、様々な出来事を通して身に付け、今では自分の人生を自分らしく生き抜くための術となっている。

私は今、二人の男の子を育てるシングルマザー。あの頃に負けないくらい朝から晩まで毎日忙しく走り回っているが、これから年齢を重ねても、今よりもっと笑顔いっぱい、キラキラ輝く女性であり、母であり、一人の人間でありたいと思う。そしていつか、私の描く、最高の自分になる!!